

福祉科 学習指導案		
単元名		介護過程 介護過程の展開の実際
単元の目標 (単元で育成する資質・能力)		①介護過程の実践的展開について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 ②アセスメント、介護計画の立案、実施、評価の介護過程の実践的展開についての課題を発見し、職業人として求められる倫理観を踏まえ科学的根拠に基づいて創造的に解決すること。 ③サービス利用者主体の継続した地域生活を支援するための介護過程の実践的展開について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。
具体的な評価規準		
知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・介護過程の展開について理解している ・介護過程に関連する技術を身に付けています	・アセスメント、介護計画の立案、実施、評価の介護過程の実践的展開についての課題を発見している ・職業人として求められる倫理観を踏まえ科学的根拠に基づいて創造的に解決しようとしている	サービス利用者主体の継続した地域生活を支援するための介護過程の実践的展開について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている
単元計画		
次 時	評価規準と評価方法	学習活動
一 1	【評価基準】 グループホームや有料老人ホームについて理解している(知識[『社会福祉基礎』『介護福祉基礎』]) アルツハイマー型認知症について理解している(知識[『こころとからだの理』『介護実習』]) 【評価方法】 筆記テスト	【事例学習I】 グループホームにおける認知症高齢者 Aさん(91歳、女性、要介護3) ○他科目で学習した居宅サービスやアルツハイマー型認知症の特徴を振り返る ○介護実習の経験から、認知症高齢者の特性を理解する
二 2	【評価基準】 グループホームにおける認知症高齢者の事例から必要な情報を収集し、アセスメントシートにまとめることができる (思考・判断・表現) 【評価方法】 記述の分析(介護過程No.1、2の内容)	○フェイスシート及び情報収集シートからペアで検討し、介護過程No.1、2に必要な情報をまとめる
三 3 4	【評価基準】 利用者の現在の状態や思いから、生活課題を見いだすことができる (主体的に学習に取り組む態度) 利用者の全体像を把握し、長期目標を達成するために、課題の優先順位を決めることができる (思考・判断・表現) 【評価方法】 行動の観察(ペア活動時の取り組みの様子) 記述の分析(利用者に関する情報)	○利用者の現在の状態や思いをペアで検討し、まとめる ○日常生活のそれぞれの場面での課題を考察する ○利用者主体の生活を継続するため、解決すべき課題に優先順位をつける

四	5 6	<p><b>【評価規準】</b> 介護計画を立案することができる (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p><b>【評価方法】</b> 行動の観察(ペア活動時の取り組みの様子) 記述の分析(介護過程No.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短期目標を立てる</li> <li>○短期目標を達成するため、根拠に基づいて、具体的な援助内容・方法を考察する</li> <li>○利用者の'む身の状況に配慮し、援助の頻度を考察する</li> </ul>		
五	7	<p><b>【評価規準】</b> 実施評価表から、新たな課題を考察することができる (思考力・判断力・表現力)</p> <p><b>【評価方法】</b> 記述の分析(介護過程No.4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施評価表から、介護過程No.4をまとめる</li> <li>○ペアで検討し、新たな課題を見いだす</li> </ul>		
六	8	<p><b>【評価規準】</b> 脳性麻痺について理解している (知能[『介護福祉基盤』『こころとからだの理解』]) 障害支援区分について理解している (知識[『社会福祉基礎』『介護福祉基礎』])</p> <p><b>【評価方法】</b> 筆記テスト</p>	<p><b>【事例学習Ⅱ】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">脳性麻痺のある男性</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px; text-align: center;">Dさん(43歳、男性、障害支援区分6)</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○他科目で学習した脳性麻痺の特徴を振り返る</li> <li>○障害者支援施設で介護実習を行った生徒の経験から、障害者的生活について理解する</li> </ul>	脳性麻痺のある男性	Dさん(43歳、男性、障害支援区分6)
脳性麻痺のある男性					
Dさん(43歳、男性、障害支援区分6)					
七	9	<p><b>【評価規準】</b> 脳性麻痺のある男性の事例から必要な情報を収集し、アセスメントシートにまとめることができる (思考力・判断力・表現力)</p> <p><b>【評価方法】</b> 記述の分析(介護過程No.1、2の内容)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フェイスシート及び情報収集シートから、介護過程No.1、2に必要な情報をまとめる</li> </ul>		
八	10 11	<p><b>【評価規準】</b> 利用者の現在の状態や思いから、生活課題を見いだすことができる (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>利用者の全体像を把握し、長期目標を達成するために、課題の優先順位を決めることができる (思考力・判断力・表現力)</p> <p><b>【評価方法】</b> 記述の分析(利用者に関する情報)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の現在の状態や思いをまとめる</li> <li>○日常生活のそれぞれの場面での課題を考察する</li> <li>○利用者主体の生活を継続するため、解決すべき課題に優先順位をつける</li> </ul>		
九	12 13	<p><b>【評価規準】</b> 介護計画を立案することができる (主体的に学習に取り組む態度)</p> <p><b>【評価方法】</b> 記述の分析(介護過程No.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○短期目標を立てる</li> <li>○短期目標を達成するため、根拠に基づいて、具体的な援助内容・方法を考察する</li> <li>○利用者の心身の状況に配慮し、援助の頻度を考察する</li> </ul>		
十	14	<p><b>【評価規準】</b> 実施評価表から、新たな課題を考察することができる (思考力・判断力・表現力)</p> <p><b>【評価方法】</b> 記述の分析(介護過程No.4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施評価表から、介護過程No.4をまとめる</li> <li>○ペアで検討し、新たな課題を見いだす</li> </ul>		

**授業展開計画**

科 目 名	介護過程	実施日	今和2年11月17日(火)4限目
場 所	福祉科2年教室	指導者	教諭 ○○ ○○
対 象 者	福祉科2年 21名(男子2名、女子19名)		
単 元 名	介護過程の展開の実際 (全14時間)	使用教科書	介護過程(実教出版株式会社) 介護過程(中央法規株式会社)
本時の主題	課題の明確化(本時4/14時間)		
前時の目標	利用者の現在の状態や思いから、生活課題を見いだすことができる (主体的に学習に取り組む態度)		
本時の目標	長期目標を達成するために、解決すべき課題の優先順位を決めることができる (思考力・判断力・表現力)		
評価方法	行動の観察(ペア活動の様子)、記述の分析(提出プリント)		
過程 時間	主な学習活動		評価
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れと目標を確認し、ゴールイメージを持つ</li> <li>・前時にまとめた利用者に関する情報シートを振り返り、A様が日常生活を送る上で、様々な課題があることに気づく</li> </ul>		
展開 I 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期目標の意味を解釈する</li> <li>・解決すべき課題に優先順位をつけるための根拠を理解する</li> </ul>		
展開 II 25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで情報収集シートを確認し、長期目標を達成するために解決すべき課題を検討する</li> <li>・優先順位が高い課題を2つ挙げ、選んだ根拠をまとめる</li> <li>・各ペアの用紙を回覧し、他のペアが選んだ課題と根拠を知る</li> </ul>		行動の観察 (ペア活動の取り組みの様子) 記述の分析 (提出したプリント)
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期目標を達成するために解決すべき課題は、たくさんあることを気づかせる</li> <li>・本時のペア学習の評価を行い、感想をまとめる</li> </ul>		

「主体的に学習に取り組む態度」の評価標準

S	A	B	C
日常生活のそれぞれの場面で、根拠に基づいた生活課題を見いだすことができる	日常生活のそれぞれの場面で、生活課題を見いだすことができる	日常生活の一部の場面で生活課題を見いだすことができる	生活課題を見いだすことができていない

「思考力・判断力・表現力」の評価標準

S	A	B	C
根拠に基づき、長期目標を達成するために解決すべき課題を考察することができます(2つ以上)	根拠に基づき、長期目標を達成するために解決すべき課題を考察することができます(1つ)	長期目標を達成するために解決すべき課題を考察することができます	解決すべき課題と長期目標との関連が見られない